

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2010-45767(P2010-45767A)

【公開日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-126822(P2009-126822)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 3 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月11日(2012.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク処理装置であって、
フラグメント化された I P データグラムを受信し、該 I P データグラムをリアセンブル
処理する処理手段と、
リアセンブル処理対象外の I P データグラムを特定する情報を保持する保持手段と、
を有し、
前記処理手段は、前記保持手段に保持された情報で特定される I P データグラムを受信
した場合、該 I P データグラムをリアセンブル処理しないことを特徴とするネットワーク
処理装置。

【請求項 2】

前記保持手段は、前記処理手段によるリアセンブル処理が終了した I P データグラムを
特定する情報を保持することを特徴とする請求項 1 に記載のネットワーク処理装置。

【請求項 3】

前記保持手段は、一定時間内にアセンブル処理が終了しなかった I P データグラムを特
定する情報を保持することを特徴とする請求項 1 に記載のネットワーク処理装置。

【請求項 4】

前記保持手段は、前記処理手段によるリアセンブル処理が終了した I P データグラムを
送信した送信元クライアントを特定する情報を保持することを特徴とする請求項 1 に記載
のネットワーク処理装置。

【請求項 5】

前記保持手段は、一定時間内にアセンブル処理が終了しなかった I P データグラムを送
信した送信元クライアントを特定する情報を保持することを特徴とする請求項 1 に記載の
ネットワーク処理装置。

【請求項 6】

前記処理手段は、前記リアセンブル処理を開始した後、前記保持手段に保持される情報
で特定される I P データグラムを受信した場合、該 I P データグラムをリアセンブル処理
しないで前記開始したリアセンブル処理を終了させることを特徴とする請求項 1 に記載の
ネットワーク処理装置。

【請求項 7】

前記処理手段は、前記リアセンブル処理しないＩＰデータグラムを破棄することを特徴とする請求項１に記載のネットワーク処理装置。

【請求項８】

前記処理手段は、前記フラグメント化されたＩＰデータグラムを格納するリアセンブルバッファ、ＩＰデータグラムの到着状況を管理するビットマップテーブル、リアセンブル処理のタイムアウトを計時するリアセンブルタイマのうち、少なくとも何れか一つを確保することを特徴とする請求項１に記載のネットワーク処理装置。

【請求項９】

前記保持手段に保持される情報の保持期間が経過した場合には、前記保持手段に保持される情報を破棄する破棄手段を更に有することを特徴とする請求項１に記載のネットワーク処理装置。

【請求項１０】

前記保持手段に保持される情報の破棄条件を設定する設定手段と、

前記設定手段に設定された破棄条件に合致する情報を破棄する破棄手段とを更に有することを特徴とする請求項１に記載のネットワーク処理装置。

【請求項１１】

ネットワーク処理装置の処理方法であって、

処理手段が、フラグメント化されたＩＰデータグラムを受信し、該ＩＰデータグラムをリアセンブル処理する処理工程と、

保持手段が、リアセンブル処理対象外のＩＰデータグラムを特定する情報を保持する保持工程と、を有し、

前記処理工程では、前記保持工程にて保持された情報で特定されるＩＰデータグラムを受信した場合、該ＩＰデータグラムをリアセンブル処理しないことを特徴とするネットワーク処理装置の処理方法。

【請求項１２】

コンピュータにより読み取り可能な記録媒体であって、請求項１１に記載のネットワーク処理装置の処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

本発明は、ネットワーク処理装置であって、

フラグメント化されたＩＰデータグラムを受信し、該ＩＰデータグラムをリアセンブル処理する処理手段と、

リアセンブル処理対象外のＩＰデータグラムを特定する情報を保持する保持手段と、を有し、

前記処理手段は、前記保持手段に保持された情報で特定されるＩＰデータグラムを受信した場合、該ＩＰデータグラムをリアセンブル処理しないことを特徴とする。